

# 校内研究計画

山梨市立三富小学校

## 1. 学校課題

### (1) 地域の実態より

本校は、山々に囲まれた自然豊かな地にある。国道が走る中、その国道沿いに縦長に学区が広がり、子どもたちの多くはスクールバスで登下校をしている。少人数のため、逆に学年を離れた中で子どもたちのふれあいも多い。多くの子どもたちが住んでいる興南や雷の住宅では、帰宅するとすぐ子どもたちが集まり、みんなで野球をしたり自転車に乗ったりして遊んでいる姿も見られる。

しかし地域差もあり、広瀬、青笹などでは家と家とが離れているため、帰宅後は遊ぶ相手がいないという実情もある。自然についても熊やイノシシなどの危険性もあり、十分関われないという側面もある。

こうした環境の中で生活する本校児童は44人(平成24年4月現在)学級数は7学級である。

### (2) 児童の実態(今年度教師アンケートより)

児童の実態のアンケートから、本校の児童には、考える力・自主性・表現力等の育成が課題であることが浮き彫りとなっている。

昨年度までの研究内容のうち活かせるものを継続し、表現力・コミュニケーション能力を伸ばしたり定着させていくとともに、何事に対しても自分の考えがもてるようにさせることが大切であると考えている。さらに今年度は、教科・領域等あらゆる場面で言語活動が充実できるような研究を進めていきたいと考える。

## 2. 研究主題

### 『楽しい学校(楽校)の創造をめざして』

～NIEを活用し、言語活動の充実をめざす～

## 3. 主題設定の理由

学校教育目標の具現化をめざして

本校では、「楽しい学校(楽校)の創造」を基本目標とし、以下を学校教育目標に掲げている。

「楽しい学校(楽校)の創造」 かしこく やさしく すこやかに一 進んで学ぶ みとみっ子(知育) 思いやりのある みとみっ子(徳育) じょうぶで元気な みとみっ子(体育)
--

この目標は、どのような社会の変化にも対応できる「生きる力」をもった、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図ろうとするものであり、教育活動のあらゆる場面を通して具現化していく必要がある。

「知育」とは、確かな学力をはぐくみ、楽しくわかる授業を創造することである。教材教具、指導方法を工夫し、基礎基本を身に付けさせることが大切となる。「徳育」は、道徳教育を要とした心の教育のことであり、読書活動や地域の自然活動や地域交流によってはぐくまれる。「体育」は、体力づくり運動の実践や健康・安全・食教育の充実によってはかれる。これらの実践的・体験的活動は、平成23年度新教育課程の中に三富小学校の特色を生かしながら編成されている。

一昨年度までの研究で、言語活動を充実させるためにスピーチ広場や親子読書等の全校的な取り組みや様々な教科での授業研究を通して思考力、判断力、表現力が高められ、ある程度の成果が上がった。さらに昨年度は、新学習指導要領でも進められているNIEに注目し、児童がより楽しく学習できるように教育活動に取り入れてきた。NIEについての知識を広め、実践的研究を行い、よりよい形で教材としての活用を行ってきた。NIEで児童が意欲的に楽しく学習を進めることが、言語活動の充実につながり、本校の学校教育目標の具現化の一つになると考え、今年度も引き続き、NIEを生かした研究をすすめることとなった。

#### 4. 研究の具体的内容与方法

##### (1) ファミリーフォーカスの推進

- ・家庭でも新聞に親しみ、社会教育の場づくりとする。
- ・児童たちが得た成果など、保護者へ情報発信をする。

##### (2) 授業実践・授業研究へ取り組む。

- ・授業研究はブロック研究を基盤にして進める。ブロックより1人が全体に検証授業を提案し、全体会で協議を行う。指導助言者を招いて、授業と研究内容について指導・助言をしてもらう。
- ・検証授業をする学年以外も一人一実践として授業公開を行う。なるべく全員が参観し相互の学習の機会とする。

##### (3) どんな実践が効果的なのか、理論や先行研究を学び、研究を進める。

- ・講師を招聘し、理論や先行研究の様子などを学ぶ。
- ・先進校の実践や文献、参加した研修会などの伝達をする学習会を行う。

##### (4) 言語活動充実に向けた継続した取り組みを行う。

- ・朝の読書活動でNIEを取り入れる。
- ・家庭への啓発を行い、親子読書に取り組む。
- ・新聞感想文に取り組む。

### 年間校内研修計画

研究主任 竹川 由美子

回	月日	曜日	内 容	提案	T.C 要請
	4 / 10	火	研究推進委員会、研究の方向性	研究主任	
1	4 / 11	水	研究主題の設定、研究計画の概要	研究主任	
2	4 / 26	木	研究計画の具体、研究組織・研究計画の決定	研究主任	
3	5 / 9	水	Q-U実施について ブロック研(ブロック活動計画作成)	研究主任	
4	6 / 4	月	ブロック研(低・高学年ブロック) 低: 検証授業指導案検討 高: NIE活動について	ブロック長 研究主任	
5	6 / 18	月	評価について 検証授業の全体指導案検討	教務主任 研究主任	
6	6 / 27	水	検証授業 第2学年 研究会	授業者	
7	8 / 17	金	Q-Uの結果の還流 ソーシャルワーカーによる理論研究 外部講師によるNIEの学習会	担任 研究主任	
8	9 / 5	水	教育課程還流報告 各種研修会報告	説明会参加者 講習会参加者	
9	10 / 24	水	一人一実践 第5学年 一人一実践 第3学年	授業者	
10	11 / 7	水	一人一実践 第6学年 一人一実践 特別支援学級	授業者	
11	11 / 28	月	一人一実践 第1学年 一人一実践 第4学年	授業者	
12	1 / 30	水	ブロック研究のまとめ	研究主任	
13	2 / 20	水	1年間のまとめ	研究主任	
14	2 / 27	水	次年度の方向性について・印刷	研究主任	
15	3 / 6	水	研究集録作成作業	研究主任	